



かがわ里海大学 2019

スキルアップ講座

# 里海ガイド養成講座（入門） 開催しました！



- 日 時：2019年6月29日（土）10:00～17:00、6月30日（日）9:00～17:00
- 会 場：交流の里おうごし（坂出市王越町）ほか
- 講 師：森田 桂治 氏（NPO 法人アーキペラゴ理事）、小前 昭二 氏（Free Cloud 代表）  
谷 光承 氏（里海プロガイド養成講座修了生）
- ゲスト講師：谷 益美 氏（株式会社 ONDO 代表取締役）
- 受講者数：12名

## 実施内容

### 1日目 6月29日（土）

ガイドに必要な基礎知識をフィールドにおける体験と対話を通して学ぶ、「里海ガイド養成講座（入門）」を開催しました。受講生には、実際にガイド経験を持つ人や主婦、大学生など様々な方が集まりました。

最初に、地域資源を活用したガイド活動やそれに伴う地域活性化、環境保全に必要なガイドの役割について、森田桂治氏からお話がありました。

その後、プロガイドが行うツアー体験を、アウトドアガイド経験が豊富な小前昭二氏がガイド役となって受講生を案内しました。王越のことを知ったり、フィールドの魅力を発見できるアクティビティや王越フィールドビンゴを喜佐波神社周辺で実施しました。



フィールドビンゴの様子



ツアー振り返り

午後からは、体験ツアーを振り返り、ツアー内でガイドが実施していたことやツアーで感じたことを各グループ（3人ずつの4グループ）で話し合い、発表した後、講師が事実を紐解きながら、ガイドングの工夫やツアー組立て方について考えました。

ガイドに求められる能力としての「ファシリテーションやコミュニケーション能力」について、谷益美氏から講義がありました。「伝える」基本的なテクニックとして、話す内容にタイトルをつけたり、まず最初に「今から話すことは〇個です。」というようにナンバリングをする方法などについて説明がありました。



こんなガイドになりたい（意見交換）



ガイドに必要なコミュニケーションスキル

## 2日目 6月30日（日）

午前には、受講生が自然の中に隠してある人工物の昆虫や動物などを探すアクティビティを体験しました。体験を通して、視点を変えて自然を観ることや、「見る」でなく「観ようとする気持ち」が大切な事を感じ取っていたようです。

リスクマネジメントの講義では、アクティビティ体験中にガイドが実施していたリスクマネジメントについて、グループワークで「ハザード、リスク、対処方法」について考えました。

また、講師からガイドに求められるリスクマネジメントとして、リスクの考え方やハザードに対する対処方法、緊急時の対応などについて説明がありました。



アクティビティ体験



リスクマネジメントについて

午後からは各グループでアクティビティ作成のトレーニングとしてフィールド調査をしたり、思い思いにフィールドの良さやできる活動を確認したりしてオリジナルのアクティビティプログラムを作成しました。

作成したアクティビティプログラムを発表し、各グループと意見交換をしました。「おうごしのじいじと行く!!トンボランド」、「王越からいまの気持ちを手紙にのせて」、「トンボランドで生き物ビンゴ」、「王越でいやされる」といったワクワクする内容のアクティビティが作られ、講座で学んだリスクマネジメントなどのノウハウも盛り込まれていました。

最後に、振り返りをし、受講生からは「ガイド活動をする楽しさ」や「活動の奥深さ」、「思いの伝え方が大切」など多くの気づきや学びがあった感想が述べられ、里海ガイド養成講座（入門）修了生が12人誕生しました。



フィールド調査



アクティビティづくり



作成したアクティビティ発表



集合写真